

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（熊本県が所管する分）】

【学校（小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校）】

令和5年3月1日

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施期間		
1	大野小学校（管理・教室棟/教室棟）	玉名市岱明町野口2460地内	学校	—	—	—	—		
	管理・教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.94 C _{TU} ・S _D =0.50	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
	教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.08 C _{TU} ・S _D =0.32	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
2	小国小学校	阿蘇郡小国町宮原174	学校	（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.07 C _{TU} ・S _D =0.83	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
3	小国中学校	阿蘇郡小国町宮原200	学校	（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.07 C _{TU} ・S _D =0.79	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
4	嘉島西小学校（管理普通教室棟）	上益城郡嘉島町上島1919番地2	学校	（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.01 C _{TU} ・S _D =0.75	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
5	鹿北中学校（普通教室棟/普通・特別教室棟/管理棟）	山鹿市鹿北町4丁1464	学校	—	—	—	—		
	普通教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.05 C _{TU} ・S _D =0.79	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
	普通・特別教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.08 C _{TU} ・S _D =0.48	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
	管理棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.24 C _{TU} ・S _D =0.93	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
6	菊水中学校（特別教室棟/管理教室棟）	玉名郡和水町江田4250	学校	—	—	—	—		
	特別教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.04 C _{TU} ・S _D =0.30	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
	管理教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.00 C _{TU} ・S _D =0.71	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
7	菊鹿中学校（管理・普通教室棟/特別教室棟）	山鹿市菊鹿町下内田485	学校	—	—	—	—		
	管理・普通教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.04 C _{TU} ・S _D =0.79	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
	特別教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.07 C _{TU} ・S _D =0.88	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
8	岱明中学校（管理特別教室棟/普通教室棟）	玉名市岱明町浜田120	学校	—	—	—	—		
	管理特別教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.01 C _{TU} ・S _D =0.78	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
	普通教室棟部分			（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.05 C _{TU} ・S _D =0.59	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ
9	松橋中学校（屋内運動場）	宇城市松橋町松橋522番地1	学校	（一財）日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」（2001年版）」	Is/Iso=1.01 C _{TU} ・S _D =0.31	—	—	Is ₀ =0.7として診断	Ⅲ

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（熊本県が所管する分）】

【病院・診療所】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施期間	
1	荒尾市民病院 (外来診療棟)	荒尾市荒尾2600番地	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.64$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.39$	建替え	令和3年度～令和6年度	Ⅱ
2	荒尾市民病院 (5階建て病棟)	荒尾市荒尾2600番地	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.64$	—	—	用途係数 $U=1.25$ として診断
3	荒尾中央病院 (本館)	荒尾市大字増永1554他28筆	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.04$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.51$	—	—	Ⅲ
4	公立玉名中央病院 (南棟)	玉名市中1950番地	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.36$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.23$	建替え	令和2年度完了	用途係数 $U=1.25$ として診断
5	済生会みすみ病院 (病棟)	宇城市三角町波多775番地1	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.06$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.66$	—	—	用途係数 $U=1.25$ として診断

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施期間	
1	イスマ本店	人吉市九日町87番地	店舗	—	—	—	—	
	新館部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨が充複材の場合)	$I_s/I_{so}=2.16$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.38$	建替え	令和3年度完了	地下1階部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.38$ $q=1.28$			1階～4階部分
	旧館 西側部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.29$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.17$	建替え	令和3年度完了	地下1階～3階部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.13$ $q=0.55$			4階部分
	旧館 北側部分			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.35$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.18$	建替え	令和3年度完了	地下1階～3階部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.05$ $q=0.22$			4階部分
2	エムシティ	水俣市大黒町2丁目31番地1他5筆	店舗	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.01$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.24$	—	—	Ⅲ
3	水光社本店	水俣市古賀町1丁目1番地他2筆	店舗	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.39$ $C_{T\bar{U}}\cdot S_0=0.20$	建替え	令和4年度完了	1階～4階鉄筋コンクリート造部分
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.10$ $q=0.21$			3階鉄骨造部分

耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物（熊本県が所管する分）】

【ホテル・旅館】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施期間		
1	ホテル サン人吉	人吉市上青井町字上青井163番地5	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	$I_s/I_{so}=1.0$ $C_{T1} \cdot S_0=0.42$	—	—	1階～3階部分	Ⅲ
				(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.10$ $C_{T1} \cdot S_0=0.60$	—	—	4階～階屋	Ⅲ

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施期間		
1	荒尾市庁舎(本館棟)	荒尾市宮内出目390	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.03$ $C_{T1} \cdot S_0=0.43$	—	—	用途係数 $U=1.25$ として診断	Ⅲ

【危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施期間		
1	大阪製鉄株式会社西日本熊本工場(鉄筋製造工場)	宇土市境目町300番地	工場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.62$ $q=1.39$	—	—		Ⅲ

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	II (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	III (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{T1} \cdot S_0 < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{T1} \cdot S_0$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{T1} \cdot S_0 < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{T1} \cdot S_0$

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性

I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、

震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※表に掲げる補正係数Zについては、別図(地域別地震係数)に示すとおりである。

※表に掲げる補正係数G、Rt、Uについては、備考欄に記載のある場合を除き1.0である。